

■ 全体講評(午後)

公開模試で 60 点を取れた方は力があります。本試験でも実力を発揮してください。一方、もう一步という方や、思うように得点できなかった方も多いと思います。午後問題は基礎知識を十分整理しておけば解答できる問題が多いので、直前の迫込みで底上げが可能です。また、過去問題の演習が不足している場合は 3～8 回前の問題をターゲットにして、選択予定分野を重点的に強化するとよいでしょう。合格した方からは「アイテックの模擬試験で得点不足だったので、奮起して追い込みしたら合格しました！」というお話をよく聞きます。本試験まで残りわずかですが、最後までベストを尽くすことが合格につながります。

共通の留意点を以下に 3 点書きます。

(1) 問題選択と時間配分を再検討してください

答案の状況からみて時間不足だった方が多かったと思います。時間があれば 8 割以上を得点できる実力を付けて、本番では制限時間の中で少なくとも 6 割プラスアルファを目指して下さい。

公開模試の結果を参考に、問題選択と時間配分の作戦を見直して本試験に臨んでください。得意分野の問題から解答することが基本です。問 2～問 3 で 12 点、問 1 及び問 3～問 11 で 10 点以上得点できた問題は得意分野と考えてよいでしょう。本試験でも重点分野と位置付けてください。本試験は集中力の勝負です。最後の 1 分まであきらめずに粘ってください。

(2) ケアレスミスをなくしましょう

特に計算問題でケアレスミスが目立ちました。計算自体は合っているものの、切上げや四捨五入、桁数の指示に合っていないものが多くありました。また、考え方は正しいものの、条件を一つ見落としたと思われる解答もありました。計算はあせらず確実に進めましょう。

計算問題のほかにも、ケアレスミスと言える失点がある方は、1 問 1 問の確実性をアップさせる意識を強く持って問題文に取り組んでください。

(3) 問題選択欄の記入に留意しましょう

記入漏れや、実際に解答した問題とマルを付けた問題が不一致という答案が散見されました。模擬試験では採点していますが、本試験では採点されません。最初にマルを付けて、途中で問題を変更した場合など要注意です。

なお、以下の講評で「正答率が高くなりました」と記

載しているものは、未解答を除いて、解答した分について比較的正答率が高い問題です。これらの問題について間違った、あるいは未解答でスキップした方は振り返りをして、得点対象にするために重点的に学習する際の参考にしてください。

<午後>

問1 電子メールのセキュリティ対策

【採点基準】

[設問1]

解答例のみを正解としました。

[設問2]

(c)は解答例のみを正解としました。(d)は「メッセージダイジェスト」も正解としました。

[設問3]

解答例のように目的が送信者のなりすまし防止であることを述べたものを正解としました。なりすましを含まずにフィッシングのみを述べたものは部分点としました。

[設問4]

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のように ML サーバの IP アドレスの照合に失敗した理由を説明できているものを正解としました。

【講評】

問 1 の情報セキュリティは、今回の試験から必須問題となります。情報セキュリティの問題は毎回異なるテーマが取り上げられます。午前問題や参考書を活用して、キーワードを一通り確認しておきましょう。問 1 は全体として正答率は高くなりました。

設問 1 では、(a)で「カ」(信頼性)という解答が多くありました。情報セキュリティでは、3 要素(機密性、完全性、可用性)のほかに、相手が本人であることを意味する真正性も重要な概念です。

設問 2 は正答率が低かったです。デジタル署名の検証手順を確認しておきましょう。また、単に「公開鍵」と答えたものがありましたが、公開鍵暗号方式について答える場合には、「誰の」公開鍵あるいは秘密鍵というように所有者を明確にしてください。

設問 3 では、「顧客ごとにデジタル証明書を準備する必要がある」という問題文の記述を抽出した解答がありましたが、設問に「目的に着目して」とありますので、着目した目的を解答に含めることが大切です。

また、「改ざん検出は目的ではない」という解答もありましたが、デジタル署名によって改ざんの検出も可能です。暗号化が目的ではないことがポイントです。

設問 4(1)は正答率が高かったです。(2)では、問題文で説明されている SPF の仕組みを正しく読み取れていない解答がありました。SPF レコードは送信側(送信元)の DNS サーバに登録します。「受信側」、「送信先」や「メールサーバに登録」といった解答がありました。また、ドメイン名は既存のメールサーバと同じなので正しく、ML サーバの IP アドレスが異なる(あるいは未登録)点がポイントです。

問2 制服製造会社の経営戦略立案

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。

【設問2】

解答例のみを正解としました。

【設問3】

解答例と同じ趣旨のみを正解としました。

【設問4】

- (1) 解答例に加えて、生地の方が流用や転用しやすいといった特徴を述べたものを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

【講評】

全体として正答率は高くなりました。問 2 を大きな得点源と考える方は多いと思います。重点的に基礎知識を整理して追込みをかけてください。

設問 1 では、経営戦略案②で「S2, O1」という解答がありました。より直接的に関連する項目を吟味すると「O2」が妥当です。経営戦略案③, ④では弱みと機会以外の組合せが多くありました。これはケアレスミスです。

設問 2 では、製造原価変動費の正答率が高かったものの、製造原価固定費に関する記述が問題文の最後にあったことが影響したためか、読み落としが目立ちました。この記述を拾えれば営業利益を含めて 4 点アップです。また、未解答も多くありましたが、問 2 を選択する方は、午前問題で出題されるレベルの企業会計の基本内容を整理しておきたいところです。設問 2 は条件さえ的確に読み取れば、計算自体はシンプルです。また、解答欄を誤った方はケアレスミスです。

設問 3 は、正答率が高くなりました。

設問 4(1)も正答率が高くなりました。不正解になったものは、解答内容と在庫の削減が遠い因果関係になっており、なぜ削減できるかが解答文の表現だけでは分から

ないものが多いです。(2)は、正答率が低くなり、単純に製品在庫を 2 割減させた解答が多かったです。解説を参考にして、在庫の回転率について理解しておきましょう。

問3 グラフの最短経路

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。
- (3) 解答例のみを正解としました。「 n^2 」だけで O 記法として不十分なものは部分点としました。

【設問3】

- (1) 解答例のみを正解としました。代入を「←」ではなく「=」と表記したものは部分点としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

【講評】

問 3 は正答率が分散して、問 2 よりは低くなりました。高得点をとれた方は自信を持ってください。答案を見返して、アルゴリズムをどこまで正確に読み取れて、どこから読み取れなくなったかを確認し、自分の思考の特性(クセ)を理解するとよいでしょう。模擬試験に加えて過去問題の演習結果を踏まえて、本試験における時間配分を再計画してください。

設問 1, 設問 2(1)は、以降の設問と比較すると正答率が高かったです。問題文で説明されているアルゴリズムの手順に沿ってマトリックスや進行表を埋めながら、アルゴリズムを的確に把握することが大切です。この最初の段階で理解が不十分だと、以降のアルゴリズムの穴埋め問題が正しくできず、結果として大きな時間ロスになってしまいます。

設問 2(2)では、(キ)と(ク)の正答率が低かったです。設問 2(3)も正答率が低かったです。O 記法の結果はシンプルになることが多いです。解説をよく確認しておきましょう。

設問 3 では、特に(2)の(ケ)と(サ)の正答率が低かったです。なお、アルゴリズムの空欄穴埋め問題では、代入処理をはじめとして問題文におけるアルゴリズムの表記に合わせるように留意してください。

問4 システムのバックアップ

【採点基準】

【設問1】

- (1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のみを正解としました。

【設問2】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のようにバックアップ時間が超過することを述べたものを正解としました。

【設問3】

解答例のみを正解としました。

【設問4】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のみを正解としました。

【講評】

ケアレスミスが多かったことが特徴で、全体としては正答率が低くなりました。

設問 1(1)では正しく計算できていながら「22.5 時間」というケアレスミスが目立ちました。(2)は正答率が低かったです。「HDD インタフェースの修理」といった条件などの解釈について解説を確認しておきましょう。

設問 2(1)は比較的正答率が高かったです。不正解の方は、増分バックアップや差分バックアップは基礎知識としてしっかり整理しておきましょう。(2)は正答率が高かったです。RTO に着眼した解答もありましたが、問題になるのはバックアップ時間です。また、設問では「問題点」が問われていますが、「理由」を述べた解答がありました。設問で問われていることを的確に解答することにも十分留意してください。

設問 3 では、ケアレスミスの「4.4 時間」が目立ちました。時間をかけて正しく計算しているのにもったいないです。

設問 4(1)は比較的正答率が高かったです。ケアレスミスと思われる解答も多かったです。K や M といった単位にも十分留意しながら解答してください。(2)もケアレスミスの「3.3 時間」が目立ちました。

問5 IPv6 アドレス

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。

【設問2】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のみを正解としました。

【設問3】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のみを正解としました。

【講評】

正答率は全体として低くなりました。IPv6 に関する

知識がなくても、問題文の記述をていねいに読み取っていけば解答できる設問も多いので、もう一度問題文を読み直して、問題文から正確に解答するという復習をするとよいでしょう。ネットワーク分野の問題は、様々なテーマから選ばれますので、午前問題などを活用してひとつおりの基礎知識を十分に整理しておきたいものです。

設問 1(a)の IPv6 のアドレス長 (128 ビット) は、午前問題でも出題される内容ですが正答率が低かったです。プレフィックスの長さの意味や表記法、MAC アドレスの構成など基本的な箇所は、解説を読んでしっかり理解しておきましょう。

設問 2(1)は正答率が低かったです。IPv6 の特徴のエニーキャストアドレスと合わせて押さえておきましょう。(2)は比較的正答率が高かったです。

設問 3(1)では「ア」という解答が多かったです。問題文をどれだけ正確に読み切れるかがポイントになります。(2)は正答率が低くなりました。IPv6 のアドレス表記の特徴を確認しておきましょう。

問6 資格手当支給システム

【採点基準】

【設問1】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のみを正解としました。

【設問2】

(1) 解答例のみを正解としました。

(2) 解答例のように支給対象の資格取得者がいない場合を述べたものを正解としました。

(3) 解答例のみを正解としました。

【設問3】

解答例のみを正解としました。

【講評】

正答率は分散し、差がつかしました。データベース分野の問題は、E-R 図とテーブル構造の空欄穴埋め問題、SQL 文の空欄穴埋め問題、仕様変更に伴うデータ構造や SQL 文の修正といった類似のパターンが多いので、過去問題を使って十分にトレーニングしておきましょう。

設問 1(1)では、(a)の正答率が高かったのに対して、(b)で多対多という誤りが多かったです。支給対象資格エンティティが関連エンティティになることを押さえることがポイントです。(2)は比較的正答率が高くなりましたが、主キーに下線のない解答が目立ちました。定番の問題形式ですので、十分留意してください。

設問 2(1)は差がつかしました。(f)の正答率は高かったです。(f)のテーブル名が正解なのに、(g)~(i)で明らかに

除外できるテーブルを結合している解答が目立ちました。ていねいに考えて少しでも正確さをアップさせてください。(2)は(1)の結果にも影響されるせいか、正答率が低くなりました。(3)の正答率も低くなりました。この問題を活用して外部結合について理解を深めておきましょう。

設問 3 は、解答した方についてはテーブル名の正答率が高いものの、列名が不十分な解答が多くありました。

問7 7セグメントLED表示タイマの開発

【採点基準】

[設問1]

解答例のみを正解としました。

[設問2]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

[設問3]

解答例のみを正解としました。

[設問4]

解答例のみを正解としました。

[設問5]

解答例のように割込み処理の発生による残り時間データの更新を述べたものを正解としました。

【講評】

正答率は分散し、差がつかまりました。組込みシステム開発の問題は、前提知識がなくても解答できる設問もありますが、高得点するためには基礎知識の整理が必要です。典型的な複数のシステムについて確認しておきましょう。

なお、問題文の「表 メインルーチンで用いる変数」の配列seg[]の説明中「…ポートAに出力する値を格納」は、正しくは「…ポートB」でした。大変申し訳ございませんでした。

設問1では、ポートBに出力するビットについて点灯と消灯を逆に読み取った解答が多くありました。今回は他の設問に影響しませんでした。細心の注意を払って問題文を読みたいです。16進表記でなかったものも含めてケアレスミスと言えます。

設問2(1)、(2)は差がつかまりました。基礎知識の有無に影響されたと思われます。分周やクロック信号といった基礎知識と計算方法を確認しておきましょう。

設問3も差がつかまりました。表の変数の使用目的を十分理解した上で、プログラムを検討することがポイントです。特に(f)の正答率が低くなりました。(g)は正答率が高かったです。

設問4は、未解答が多かったですが、解答した方の正

答率は5割程度でした。流れ図の検討では、問題文と対応付けることがポイントです。タイマ割込みハンドラに着目して該当する問題文の記述を抽出します。

設問5の正答率は低くなりました。解説を復習して、解答の考え方を確認しておきましょう。

問8 宅配ロッカーシステムのオブジェクト指向設計

【採点基準】

[設問1]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

[設問2]

解答例のように荷物を入れて再度完了操作を促すことまで述べているものを正解としました。

[設問3]

解答例のみを正解としました。

[設問4]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のようにロッカー番号の誤りを述べたものを正解としました。不在票に記載されない項目を含めたものは不正解としました。

【講評】

問8は選択する方が多く、正答率は分散しています。情報システム開発の問題では、UMLのクラス図やシーケンス図が頻出です。アクティビティ図も加えて、設問で空欄になっている箇所だけでなく、三つのダイアグラムの内容や関係を理解しておくといよいでしょう。

設問1(1)では「入庫可否設定」という解答が目立ちました。操作は他のクラスから参照します。図1のクラス図の中のほかのクラスの操作も参考にして、属性の設定は除外します。(2)では、(c)の正答率が高く、(b)と(d)は差がつかまりました。「N」と「*」があいまいになっていると思われます。解説をよく確認しておきましょう。

設問2では、「荷物が入っていません」という事象だけを伝えるもの、「荷物を入れてください」という行動も含まれていながら不十分なものが多くありました。メッセージは、読み手(利用者)が何をすればよいか分かるように必要十分な内容を伝えるように配慮すべきです。

設問3は差がつかまりました。alt(選択)に着目することがポイントです。

設問4(1)は、問題文の最後の部分を読み切れたかどうかで差がつかまりました。「部屋ごとの暗証番号」を拾えれば解答できたはずですが。(2)では、設問の「不在票の記入誤り」に着目できたかどうかで差がつかまりました。不在票にない項目や「暗証番号忘れ」という解答が目立ちま

した。

問9 ステークホルダマネジメント

【採点基準】

[設問1]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

[設問2]

- (1) 解答例のように承認権限者と文書化を述べたものを正解としました。
- (2) 解答例のように、プロトタイプやモックアップ、デモシステムの作成を述べたものを正解としました。画面遷移図の利用は部分点としました。

[設問3]

- (1) 解答例のようにプロジェクト責任者の K 取締役役に調整依頼するものを正解としました。
- (2) 解答例のように暫定的に運用でカバーすることと次期フェーズで対応することの両方を述べたものを正解としました。

【講評】

設問 1(1)は正答率が低かったです。生産管理システムの機能強化プロジェクトであることを理解し、問題文をていねいに読めば重要なステークホルダを特定できます。(2)では(ア)などの解答が多くありました。O氏はN社のプロジェクトマネージャですから、O氏の責任でステークホルダをマネジメントする施策を優先させたいです。

設問 2(1)は正答率が高かったです。「過去の経験を踏まえて」という記述を意識せず、直前に書かれている工程レビューについて述べた解答が散見されました。(2)は差がつかしました。「上位管理者が仕様を合意する」という着眼の解答がありましたが、「画面仕様は利用者の使い勝手に直結する」と記述されていますので、利用者の理解度を上げて利用者の合意をとりたいです。また、仕様合意のプロセス改善を述べた解答もありましたが、理解を深めるための施策が含まれていないものが多かったです。

設問 3(1)は正答率が低かったです。「製造部長に説得を依頼する」という趣旨の解答が多かったです。「総務部長の説得は難しい」や「提言によって話がまとまり」といった記述を基に考察します。(2)では、運用と次期フェーズでの対応の両方を述べたものは少なく、いずれか一方の解答が多かったです。「当面は大きな問題は発生しない」という状況を考慮して、プロジェクトの制約条件(納期や費用)を踏まえた上で将来の対応まで考慮しましょう。

問10 クラウドサービスを導入したシステム運用サービスの検討

【採点基準】

[設問1]

解答例のみを正解としました。

[設問2]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) (b)は解答例のみを正解としました。理由は解答例のように、PaaSが適切であると同時に、SaaSとIaaSでは適切でない理由を含めて説明できているものを正解としました。

[設問3]

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のみを正解としました。

[設問4]

- (1) 解答例のように事前に措置を講じてキャパシティ管理における問題を未然に防ぐことを述べたものを正解としました。キャパシティ管理に焦点を当てずに「障害を未然に防ぐ」のように述べたものは部分点としました。
- (2) 解答例のように参加人数などのイベント情報を具体的に述べたものを正解としました。具体的でないものは部分点としました。

【講評】

全体の正答率は他の問と比較すると相対的に高くなりました。

設問 1は正答率が低かったです。それぞれサービスマネジメントの基本用語です。

設問 2(1)も正答率が低かったです。(イ)のオンラインサービスは、空欄 a の一つ前の文で説明されている特徴に該当します。(2)は差がつかしました。ITインフラの問題解決を理由としてIaaSを選択した解答が多くありましたが、SaaSやPaaSでもハードウェアなどの管理を委託しますし、OSやミドルウェアの問題が解決しません。問題文に記述されている複数のヒントを見比べて考察する必要があります。

設問 3(1)は、正解よりも(エ)の誤りが多かったです。無停止のシステムにおいては、稼働率99.99%の場合に年間の停止時間が約53分、99.999%の場合に約5.3分というオーダーを覚えておくとよいでしょう。(2)は「障害管理」などが目立ちました。「インシデント管理と問題管理はB社が行う」といった記述を踏まえて考察しましょう。

設問 4(1)は正答率が高かったです。プロアクティブの意味を理解できている解答が多かったです。キャパシ

ディ管理に着目した目的としてまとめたいところです。一方、プロアクティブのニュアンスが伝わらない解答もありました。重要な考え方ですので解説を確認しておきましょう。(2)では、キャパシティ管理につながる需要管理の考え方を確認しておきましょう。

問11 システムの設計開発プロジェクトにおける品質管理の監査

【採点基準】

【設問1】

解答例のみを正解としました。「エビデンス」は監査証拠と同義の用語としても使われますが、システム監査基準には記載されていないので不正解としました。

【設問2】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のようにモデレータの参画など体制の特徴を挙げてレビューの進行を述べたものを正解としました。

【設問3】

解答例及び同様のものを正解としました。

【設問4】

- (1) 解答例のみを正解としました。
- (2) 解答例のように考課に関する規定について述べたものを正解としました。開発部門の責任者が含まれている事実だけを述べたものは部分点としました。
- (3) 解答例のように基本設計レビューへのユーザ部門の参加を述べたものを正解としました。

【講評】

解答分については正答率が比較的高くなりましたが、最後の問題ということも影響しているためか、未解答の設問が多く見られました。振り返りや過去問題を分析して得意分野と言える場合は、先に解答するといった作戦変更を検討してください。

設問1は差がつかしました。システム監査の基本用語です。

設問2(1)は、レビュー手法の知識が必要で、これも差がつかしました。「パスアラウンド」という解答がありましたが、パスアラウンドはレビューアが一堂に会さず、送付した資料に対して各自個別に評価を行って結果を戻す方式です。「ラウンドロビン」も散見されましたが、特徴が異なります。(2)では、人選の特徴などに関して問題文に記述されている公式レビューの規定を転記しただけの解答がありました。設問文に「ウォークスルーの進行方法と対比して」と書かれていますので、進行方法を中心とした記述にする必要があります。

設問3は、システム監査技法の用語問題です。似たよ

うな表現で解答した方も、解答例の表現が適切ですので押さえておきましょう。

設問4(1)は、正答率が分散しました。後工程のレビュー結果から、前工程の作業品質やレビューの品質を評価する考え方を確認してきたいです。(2)は、規定とレビューに関する記述をていねいに照合すれば違反事項を特定できます。時間不足だった方が多かったと思われます。(2)が違反事項であるのに対して、(3)は改善提言の内容が問われていることに留意します。

以上